



2023（令和5）年度

# 二中だより



第11号

2023（令和5）年6月16日 発行責任者 加賀谷 登

## 1年生防災学習

6月12日（月）6校時目に、県の県土整備部から講師を招いて、防災学習を行いました。今回は特に土砂災害についての説明がありました。徳島県内には、約12,400箇所にのぼる土砂災害の危険がある場所があるそうです。本校の裏山をはじめ、二中校区にも危険な箇所が複数あることがわかりました。今回の学習では、土砂災害に至る過程を模型で確認したり、災害時を想定して優先すべき行動を班で考えたりして有意義な学習になりました。講師さんからは、特に次の3点を忘れないようにと注意がありました。



身を守るために心得ておくこと

- ①住んでいる場所の危険性を知る。
- ②災害が起こった時の避難場所を確認しておく。
- ③空振りを恐れず避難する。



梅雨に入り大雨による被害がいつ起こってもおかしくない時期になりました。各ご家庭で、万が一の備えと行動の確認をしておいていただけたらと思います。

## ありがとうの輪を広げよう

本校の本年度の重点目標の一つに、「自己有用感と自尊感情を高める教育活動・人権教育の充実を図り、心豊かな生徒を育てる。」という目標があります。

自己有用感とは、自分の存在が周りの人に役立っている、貢献していると認識できる感情のことです。自尊感情とは、自分自身を価値ある存在だと感じることです。自己有用感や自尊感情がきちんと育まれていくと、自分自身に自信をもって、何事にも積極的に取り組めるようになっていたり、学校や職場での人間関係を上手に築き、勉強や仕事にいい影響を与えたりします。本校では、早くから「自己有用感」や「自尊感情」の育成に取り組んできました。その取組の一つが「ありがとうの輪を広げよう」です。給食の放送で、「〇〇さん、□□をしてくれてありがとう。□□してくれてうれしかったです（相手に対する思いや、今後の決意など）。△△より」と、うれしかったことや感謝していることなどをメッセージにして紹介しています。感謝の言葉にしたり、お礼を言ったりすることがなかなか素直にできない年頃です。また、言われた方も照れくさかったり、恥ずかしがったりする年頃ですが、当たり前のようにできる本校の子どもたちの素晴らしさを実感しています。

## 総体！明日から！

いよいよ総体が明日に迫りました（メイン日）。どの部活動も、最後の仕上げに入っています。細かな動きのチェックをしている部活動もあれば、最後は思いっきりするだけだと力を入れて練習している部活動もあります。本番の前に軽めの調整に移ってきた部活動もあるようです。今週は、天候の具合が今ひとつで、外の部活は十分な練習ができなかったかもしれませんが、条件はどの学校も同じです。力の限り精一杯頑張ってきてください。

保護者の皆さまも、ご多用中とは思いますが、時間があれば応援よろしくお願ひします。

